

7月から藤原記念病院に勤めている近藤克幸です。はじめてこちらの病院にお世話になるので、自己紹介をさせていただきます。

私はこちらに来るまでの2年8ヶ月ほど、岩手県奥州市の衣川診療所で働いていました。衣川は中尊寺から車で10分くらいのところにある自然豊かな地域で、私が勤めていたのは地域に唯一のへき地診療所です。住民のみなさんが私の住んでいた医師住宅の庭に畑を作ってくれたので、日々、妻が育てた自家製野菜をいただきながら過ごしていました。

前職は岩手の診療所ですが、私はもともと秋田生まれの秋田育ちで、地域医療を志して医学部受験を決め、秋田大学医学部に入学しました。学生時代はずっと地域医療サークルに所属し、夏休みはへき地診療所を回っていましたが、学年が進むにつれて心臓の手術に興味を持ち、心臓血管外科に入局しました。若い頃は手術に明け暮れる毎日でしたが、30代になって間もない頃、大学病院の情報システムを総括していた医師が転出したので後釜を務めてもらえないかと病院長からお声がかかりました。当時、コンピュータで血流をシミュレーションする研究をしていたのでコンピュータに詳しいと思われたようです。大規模なシステムに興味もあったので、しばらく心臓血管外科と医療情報部(病院の情報システムを管理する部門)の二足のわらじで頑張っていました。少々無理をしすぎたのか頸椎ヘルニアで手がしびれて入院する羽目になり、医療情報の責任者を仰せつかったのを機に手術から離れました。外科を志したのに手術に入れなくなったのは残念でしたが、ちょうど体を壊した時期に医療情報の仕事に本格的に取り組むチャンスを得たのは幸運だったのかも知れません。

その後、大学病院や大学本部のマネジメント系の仕事で忙しくなるにつれ、患者さんを診る時間が減っていき、ジレンマを感じながら気がついたらあっという間に定年まで残り10年。「なんで医者になったんだっけ?」と思ったところで衣川診療所の医師募集を見つけ、思い立ったが吉日とばかりに応募して同診療所に赴任しました。診療所ではおじいちゃんおばあちゃんとじっくり話しながら、とても近い距離で仕事ことができました。このたびは御縁があり藤原記念病院で働くことになりましたが、その経験も生かして頑張っていけたらと思っています。

この地域のことや病院のことなど、分からないことだらけですが、早く馴染んでいけるよう、たくさんのことを教えていただくと嬉しく思います。これからよろしくお願いいたします。



副院長 近藤克幸

### 医療法人 敬徳会 藤原記念病院の理念と基本方針

私たちは設立の動機である『地域のための医療』を理念とし、次の事項を基本方針といたします。

#### 基本方針

#### 1.良質な医療提供に関する事項

患者さま本位の医療と良質な医療を提供することを念頭に、救急病院として急性期医療から慢性期医療までを担う病院。また、地域の福祉施設、訪問看護ステーション、自治体などと連携し患者さまに最適な療養環境の提供を目指します。

#### 2.患者さまに対する職員の対応に関する事項

笑顔をもっととし、常に患者さまの立場に立ち、患者さま中心の精神を持って行動します。

#### 3.患者さまの権利の尊重に関する事項

患者さまの権利章典を制定し、常に患者さまの権利を尊重し、十分な説明と合意に基づいた『共同的な営み』として医療を行います。

#### 4.職員の就業に関する事項

私たちはプロ意識を持ち、常に自己研鑽に励み、新しい知識と技能の習得に努めます。



## ご挨拶

2024年4月1日、看護部長を拝命し着任いたしました秋山みどりと申します。  
どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、名前にちなんだ自己紹介をします。旧姓は「森」です。平成元年に、森や林、みどりにちなんだ名前の方を募集し植樹するという「みどりの日制定記念植樹祭」というイベントが仁別国民森林公園でありました。部署の先輩方の勧めで応募したところ、見事選ばれ代表して植樹するという経験をしました。あれから35年経過しますが、その記念樹は、さぞかし大きくなっていることでしょう。国民の祝日である「みどりの日」ですが、私はひそかに「自分の日」と思っているおめでたい人間です。

同じ年、秋田大学医学部附属病院に入職しました。病棟・外来・中央診療部門等を経験し、包括的に対象者を捉え、幅広い視野を持った看護ができる看護師を目指しました。

看護管理者としては、組織目標達成のため、人材育成、キャリア支援に取り組み、社会の動向を捉え、発展的に看護管理が実践できるよう努めました。コロナ禍においては、スタッフの「レジリエンス」を信じ、個々が輝きながら成長・発展する組織運営を目指しました。しかし、人生100年時代と言われ、自身の働き方を深く考えるようになりました。生涯、看護師を続けるにあたり、看護師としての深みや人間性の幅を広げるため、地域の病院を知り、経験を重ねてみたいと思うようになりました。新しい環境下で、また新たな気持ちで「看護」に向き合いたいと考えました。優柔不断な私にとって、とても大きな決断でした。

私は看護部長として、「対話」を重視した組織運営、自律的に考え行動できる人材育成、成長・発展する組織運営に取り組んでいきたいと思えます。お互いに支え合い、認め合う、健康で安全な職場環境を醸成するためには、一人ひとりの存在が大切にされる組織が求められます。時代を読み、柔軟性としなやかさ、強さを持ち、個々が輝きながら未来に向かって前に進んでいく組織を構築したいと思えます。

当院は『地域のための医療』の理念に基づき、満足していただける看護を提供しています。将来的には、Team FUJIWARAで、マグネットホスピタル【看護師を惹きつけ、高い定着率を維持している魅力的な病院】を目指したいと思えます。今後とも、ご指導ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



看護部長  
秋山 みどり



## 自己血糖測定器【フリースタイルリブレ】

糖尿病患者は、生活習慣と社会環境の変化に伴って急速に増加しています。糖尿病は一度発症すると完全に治ることは少なく、放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起こし、末期には失明や透析治療が必要になることがあります。

治療は食事療法・運動療法そして薬物療法の3本柱になります。

薬での治療は飲み薬と注射薬があり病状によって使い分けられています。

血糖値を適切にコントロールされているか確認できる機器として、自己血糖測定器があります。指先に針を刺して血液を採取することで、自宅でも血糖値を測定することができる機器です。しかし1日数回指先に針を刺して血液を採ることは痛みを伴うだけでなく、他人の目が気になり隠れて測定している患者さんも多く見受けられます。

そこで登場したのが、【フリースタイルリブレ】という機器で、毎回針を刺すのではなく、一度センサーを上腕に取り付けると、2週間読み取り器をかざすだけで血糖値を測定できるものです。いつでもどこでも何度でも血糖を測定することができ、また24時間のデータを専用のデータ管理ツールでグラフ化することもでき、治療の助けにもなる医療機器です。

この機器を利用している糖尿病患者さんからは毎日針を刺すことから解放されてとても便利だと高く評価されていて、血糖管理の目安として利用されています。

指先での測定のように【点】での値ではなく【グラフ】として24時間の線で表示されますので、点での測定ではわからなかった血糖の変動や、食後、睡眠中、早朝の血糖値などを見ることができ、薬の細かい調整も可能となり治療に大変役立っています。

また高血糖や低血糖の発見にもつながり、患者さん自身がそれに対応できるようになり、飛躍的な血糖コントロール改善につながった例もありました。ただし欠点としては会計が少し高くなることと、上腕に500円玉大のセンサーを取り付けるため服の脱着などに少し注意が必要になることです。しかし入浴、温泉、サウナ、プールなどは全く問題なく利用することができます。この機器は注射薬を使って治療している患者さんは保険適応になります。それ以外の方は自費で購入することもできます。

ご興味のある方は受診時、糖尿病の医師にご相談ください。医師の了解があれば、当院では糖尿病の専門薬剤師が1対1で細かく丁寧に説明致します。

薬剤部 薬剤師 鈴木 あさ子



## 当院野球部の再始動

昨年5月、ようやく新型コロナも2類から5類に引き下げられ、3年ぶりに病院対抗野球大会が開催されることになった。病院間での大会は病院対抗野球大会と言われ、秋田県病院対抗野球大会中央第二地区予選大会が正式名称である。中央第二地区は12病院が加盟しているが、現在活動しているのは、男鹿みなと市民病院、五十嵐記念病院、秋田緑ヶ丘病院、杉山病院、秋田厚生医療センターと当院の6病院である。2ブロック制(1ブロック3チーム)でトーナメントを勝ち上がり、優勝すると全県大会へ出場できる規定だ。

しかし、肝心のユニフォームの数は足りず、ヨレヨレで着用するのはムリ…。まずはユニフォーム・帽子の新規更新を病院にお願いすることにした。すぐに承諾をいただき、ユニフォームはプロ野球の北海道日本ハムファイターズに倣い新調した。こうして心機一転、当院野球部は再始動を果たした。

昨年の病院対抗野球大会は、新調したユニフォームで挑んだが、土崎病院に1回戦3-6で惜しくも敗退という結果になった。監督である私は、試合中に相手の選手全員が同じバットを使用していることに気づいた。それは当たれば飛距離が出る最強のバット「BEYONDMAX LEGACY(ビヨンドマックスレガシー)」であった。私は理事長に報告に行き、LEGACYを含むバット2本に加え、さらに野球部の活動を充実させるために、ファーストミット・練習用ボールの購入許可をいただいた。すぐに後輩の勤務先であるスポーツ店に連絡し、「あの飛距離の出るバットLEGACYが欲しい、在庫はまだあるか」と問うと、残り1本であったためキープしてもらい、他の備品と併せて購入することができた。

手に入ったのなら本当に飛ぶか試したくなるもので…。この機会に地域連携推進法人の連携先である正和会へ連絡し、親睦を深めるため野球部交流戦を企画したのである。

2023年11月3日、天王漁港集落運動広場江川運動広場(通称:江川グラウンド)にて正和会と交流戦2試合を行い、結果は1勝1敗であった。試合中は「LEGACY」をお互いのチームで使用してフェアな状況で試合に臨んだ。確かに当たれば普通のバットよりも飛距離は数段違うことが判明したが、その前にバットにボールが当たらないことにはどうにもならないということで…。今後も交流戦を開催して、双方の連携・親睦そして野球の技術向上の場を設けられたらと思っている。

今年の病院対抗野球大会は9月15日に元木山公園野球場で行われる。当院は幹事病院でシードからの出場のため、全県大会出場の絶好のチャンス!こうして仕事と野球に全力を注ぎ込み、活動しているのが当院野球部であります。全県大会出場の際は、ご支援のほどよろしく願いいたします。

野球部 監督 高橋 利也



## 医師紹介

2024年4月から赴任しました。秋田大学医学部を卒業してからは、大学病院や各地域の中核病院での勤務を経験してきました。内科専門医を取得したばかりのまだまだ、成長途中の身ではありますが、これまでの経験を生かして、貢献できればと思います。

循環器内科医としては今後、超音波検査と予防医学の専門を志しています。病気にならないこと、早いうちに介入することを信念に診療しています。かつて歯磨きが常識になったように、マスク、手洗い、手指衛生が常識になってコロナ禍の期間はインフルエンザ症例が激減したように、何気ない生活の習慣で予防できることは多くあると思います。

それは高血圧、脂質異常症、糖尿病といった症状なく体をむしばむ“サイレントキラー”に対しても言えると思います。今の体重は昔の体重と比べて大きく増えていませんか？もしそうならだまされたと思って1か月1kgのペースで減量に挑戦してみてください。塩は1日にどのくらい摂取したらいいの？そもそも普段食べている食事にどのくらいの塩が入っているのかご存じですか？飲酒習慣のあるかたは肝臓に対してブラック企業になっていませんか？ちゃんと週休2日制をできていますか？などなどできるだけわかりやすく、具体的に発信していくように心がけています。

さて、私は潟上市出身です。小学生時代には藤原記念病院-出戸診療所にお世話になったこともあります。階段からおちて、あごをけがして縫ってもらったのは今でもよく覚えています。そこだけひげが線状に生えないです。そんな病院に勤務するのは非常に不思議な感覚はあります。趣味は大学から始めた弓道で今も結構頑張っています。弓道と心臓超音波は形の軸と力の軸を評価する点で非常に似ていると感じています。自分の軸を持ちつつ、ベテランの先生方のそれぞれの軸を吸収しながら努めていきます。何卒よろしく願いいたします。



内科 小林雄紀



## 薬局勉強会

近隣の介護施設等のスタッフにご参加いただき、麻薬・糖尿病に関する勉強会を行いました。多数のご参加ありがとうございました。薬についてわからないことなどございましたら、お気軽にご相談ください。



# 院内研究発表

各部署でテーマを決め研究し、知識を深めました。



## 編集後記

令和の米騒動、皆様には影響ありませんでしたか？新米も収穫されはじめ、食欲の秋♪楽しみになってきましたね。

当院では新任職員をお迎えし、院内に新しい風が吹いています。ユニフォームも一新され、心新たに地域の皆様のため、頑張って参りたいと思います。

## なつめの由来



花自体は小さくてあまり目立たないなつめ。実は利尿作用や滋養強壯の薬として使われたり、食用として食べたりと用途は様々で、とても重宝されております。決して大きい病院ではありませんが、当院も地域の皆様に重宝されるような病院を目指しなつめと名付けました。(なつめの花言葉『健康の果実』)



Fujiwara Memorial Hospital

# 藤原記念病院

〒010-0201 潟上市天王字上江川47

TEL 018-878-3131 FAX 018-878-7234

URL <http://www.fujiwarahsp.or.jp/>